



# グローバル推進機構主催インド派遣プログラム スプリングプログラム

ご案内







## 目次

1. スプリングプログラムについて
2. 実施までの流れ・諸手続き情報
3. インド滞在について
4. インド工科大学ってどんなところ





## 1. スプリングプログラムについて

### ○本プログラムの作成経緯と紹介

岐阜大学では、国際化の推進と教育研究力のさらなる向上を図るため、2019 年度に各国トップクラスの大学である、インド工科大学グワハティ校 (IITG) およびマレーシア国民大学 (UKM) とそれぞれ協働し、4つの国際連携専攻 (ジョイント・ディグリー: JD) を開設しました。

専攻名	相手	学位	標準修業年限	言語
自然科学技術研究科 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻	IITG	修士	2年	英語
連合農学研究科 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻		博士	3年	
工学研究科 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携統合機械工学専攻		博士	3年	
工学研究科 岐阜大学・マレーシア国民大学国際連携材料科学工学専攻	UKM	博士	3年	

JD とは、本学と海外協定大学がそれぞれの強みを活かしたカリキュラムをもとに、共同で作成する教育課程です。学生は標準修業年限の中で、一定期間を相手大学で学びます。留学を伴う国際的な教育環境の中で講義履修および研究活動を行い、在学期間を延長することなく日本と海外における2大学の連名で、単一の学位を取得することができます。このJDの相手大学であるIITGのことを知ってもらう機会として、2019年から新しく派遣プログラムが作られました。

大学生活は自分の行動次第で数多の可能性があります。本学は様々な海外大学と学生交流協定を結んでいます。「知らない」のはもったいない、そんな海外大学が沢山あります。

なかでも、IITG のある北東インドは交通の便の悪さもツアー旅行などで容易に行ける場所ではありません。また、IITG の優秀な学生とコミュニケーションをとる機会は、非常に良い経験となるでしょう。

今回のプログラムでは、まずは「行って、その環境を体験して、刺激を受ける」を目標に、世界に踏み出す勇気の第一歩になれば幸いです。

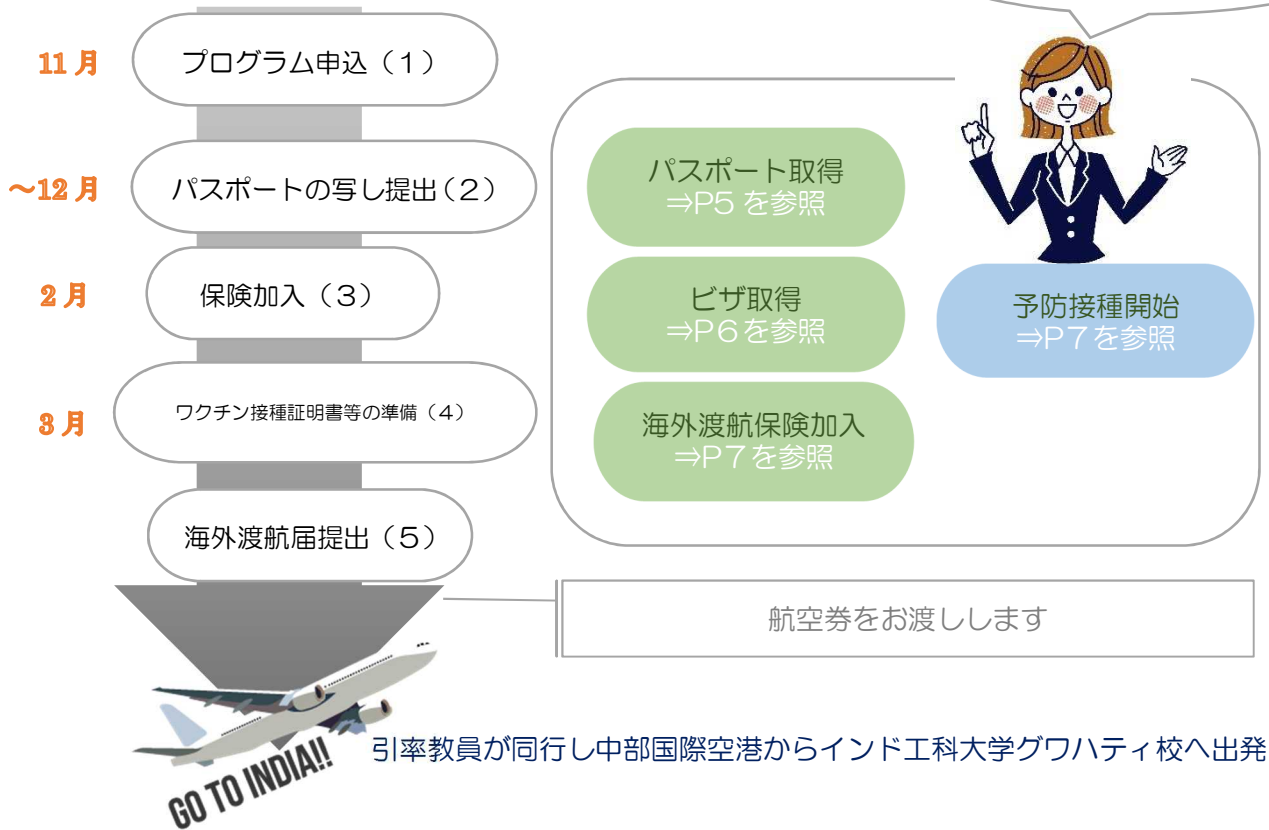
IITG では、キャンパスライフを体験してもらうことがメインとなります。IITG 学生との交流を含めたデザイン思考セミナーを実施したり、研究室見学や市内視察など、参加メンバーの興味・関心出来るだけ沿うようにIITGと協働してプランニングしています。





## 2. 実施までの流れ・諸手続き情報

○実施までの流れ ( ) は下記提出物リストの番号



### 提出物リスト

	提出物	形式	提出先	提出期限	✓
1	プログラム申込書	出力紙	グローバル 推進機構	11月30日(水)	
2	パスポートの写し	電子データ または出力紙		11月30日(水) または要相談	
3	学研災付帯海外留学保険 申込名簿	Excelファイル	学部学務係	出発1ヶ月前までに	
4	広報同意書※	出力紙	グローバル 推進機構	出発前までに	
5	海外渡航届	出力紙	学部学務係		

※広報同意書「広報活動における肖像権、著作権、個人情報の使用に関する同意のお願い」:

本学では、HP等で派遣プログラム実施内容の紹介に写真を使用させて頂く際の承諾を事前に取りらせて頂いています。大学の国際化促進のための広報活動にご協力頂きますようお願いいたします。



○費用内訳（目安）

	項目	費用目安	参照ページ
1	航空券代（諸税等込）	約 150,000 円 ※大学負担	4ページ
2	ビザ代	約 1,200 円～4,000 円	6ページ
3	学研災付帯海外留学保険	約 5,000 円	7ページ
4	パスポート代	11,000 円～	5ページ
5	予防接種	任意	7ページ
6	現地雑費	任意	—

○航空券について

申込〆切後、旅行会社にてグローバル推進機構が航空券の手配を行います。

【航空券手配の流れ】

申込〆切（11月30日：水）

航空券予約（12月～1月上旬）※時期は後日通知させていただきます。

↓ 72 時間以内

航空券発券

↓

出発3週間前までに航空券をお渡しします。



○パスポート取得について

パスポートを持っていない場合、パスポートの取得をなるべく早く行いましょう。

また、インド渡航時には、ビザ取得時に6ヵ月以上の残存期間がないとビザの取得が出来ません。そのため、6ヵ月以上の残存期間がない場合はパスポートの更新を行ってください。

**パスポートの申請から受領まで**

1. 書類の準備

一般旅券発給申請書

戸籍謄本（申請日前6ヵ月以内に作成されたもの）

住民票の写し

※必要となる人の条件があります。取得予定のパスポートセンターの情報を確認してください。

写真（パスポート申請用の規格が厳密に定められています）

申請者本人と証明できる書類（例、マイナンバーカード、運転免許証など）

外務省 HP ([https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/pass\\_2.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/pass_2.html)) 参照



2. 申請から受領までに、通常1週間程度（土・日・祝日を除く）かかります。

**費用について**

旅券の種類	都道府県収入証紙	収入印紙	計
10年間有効な旅券（20歳以上）	2,000円	14,000円	16,000円
5年間有効な旅券（12歳以上）	2,000円	9,000円	11,000円





○ビザ取得について

ビザ取得方法としては、インド駐日大使館・総領事館に直接申請する（東京と大阪の2箇所）か、インターネット申請で取得するか、業者に代行をお願いするか、デリー空港で申請するか等の4種類があります。現地空港での入国直前の取得（ビザ・オンアライバル）は、万が一の場合を考えて避けてください。

注）このデータは2022年11月8日時点のものです。手続きまでに取り扱いが変更となる可能性もあるため、最新情報をチェックするようにしてください。

	観光ビザ	e-Tourist Visa	ビザ・オンアライバル
取得方法	オンライン申請→書類を大使館に提出	オンライン申請	到着空港（対応可能空港限定）で申請
取得時期	随時	入国120日前～4日前まで	到着後入国前
必要日数	書類提出から最低3営業日	1日～3日	—
ビザ有効期間	発給日より180日	30days: 初回入国日から30日 One-year: 発行から365日有効だが、180日以上滞在は不可のため、出国が必要。	初回入国日から60日
パスポート残期間	6ヵ月以上		
入国回数	Multipleの場合制限なし	30days: 2回 One-year: Multiple	2回
入国可能空港	制限なし	デリー、コルカタ、ムンバイ等25空港+5港	デリー、コルカタ、ムンバイ等6空港
出国可能空港	制限なし		
取得費用	1200円 郵送で申請を行う場合は、送料等（1000円程度）が追加が必要です	・25USD+2.5%（クレジットカード手数料） ・25USD+3.5%（PayPal）	2,000ルピー
メリット	費用が最安	オンラインのみで完結	事前申請不要
デメリット	手間が一番かかる （電子申請から送付までを代行する業者に頼むと取得費用を含めて2200円程かかります。）	クレジットカード（VISA、MasterCardのみ）、デビットカード（VISA、MasterCardのみ）、PayPalが必要	・費用が一番高い ・利用は年2回まで ・現地空港で手続きに時間がかかる等
手続きWEBページ（インド政府）			





ビザの申請はフライト確定後の作業となります。フライト情報、ビザ申請用の規定に従った顔写真（インドのビザ申請写真は条件が厳しいです）を準備後申請します。

ビザ申請時に必要となる訪問目的、訪問予定場所（滞在住所など）は後日ご連絡いたします。

○海外留学保険について

岐阜大学では大学を通して海外へ行く方には必ず学研災付帯海外留学保険に加入するようお願いしています。保険金額と保険料等詳細に関しましては別紙の「2022年度用 学研災付帯 海外留学保険」をご確認ください。

出発1ヶ月前までに「岐阜大学海外旅行保険加入申込名簿」（Excel ファイル）に必要情報を記入の上、所属する学部・大学院の学務係へ提出をお願いします。

【JCSOS Total Assistance Service : J-TAS】

岐阜大学では、上記付帯保険に加入した学生に対し、J-TAS への登録を行っています。J-TAS は、万が一渡航先で事件・事故に巻き込まれた場合の救援者費用をサポートする制度です。また、24 時間対応のヘルプデスクを利用することができ、日常の困ったこと、健康相談などにもサービスを活用することができます。

学研災付帯海外留学保険の加入後に、保険証書と合わせて J-TAS の登録証をお渡しします。（\*たびレジ：外務省海外安全情報配信サービスへの登録も併せて行います。）

○予防接種について（任意）

在インド日本大使館では、インド滞在前に受けておきたい予防接種について周知しています。また、本学保健管理センターでは渡航前に接種しておいた方が良いワクチンや、海外での滞在時の健康管理についてアドバイスを行っています。

（参考）

在インド大使館推奨ワクチン接種リスト（旅行者）

[https://www.in.emb-japan.go.jp/Japanese/Medical\\_New/vaccines2.html](https://www.in.emb-japan.go.jp/Japanese/Medical_New/vaccines2.html)



	A 型肝炎	B 型肝炎	破傷風	日本脳炎	腸チフス	狂犬病
推奨度	◎	△	△	△	◎	△
目安金額 (1 回)	7,700 円	6,270 円	3,740 円	7,700 円	9,680 円	16,500 円

◎インド渡航の際に、ぜひ接種を受けていただきたいもの

○インド渡航の際に、接種が望ましいもの

△目的地や旅行の形態に合わせて検討すべきもの

接種費用目安：<https://hospinfo.tokyo-med.ac.jp/shinryo/tokou/cost.html>

※医療機関により異なります。



予防接種の種類によっては、時間を置いて数回(2~3回)接種する必要があります。計画は早めに行いましょう。

厚生労働省検疫所：FORTH 海外で健康に過ごすために

<https://www.forth.go.jp/useful/vaccination.html>



なお、実際の環境を良く知る教員によるアドバイスは可能ですが、どこまでのワクチン接種を行うかは各自の判断となります。

#### ○新型コロナワクチン接種証明書について

日本からインドへの入国・インドから日本への帰国に際して、「有効なワクチン接種証明書」または「出発前 72 時間以内に受けた陰性証明書」が必要になります。入国時・帰国時に証明書の必要事項が異なりますが、より厳しい、インドから日本への帰国時に求められる証明書を用意する必要があります。

注) このデータは 2022 年 11 月 8 日時点のものです。手続きまでに取り扱いが変更となる可能性もあるため、最新情報をチェックするようにしてください。

#### 1. 日本からインドへ入国

下記の手続きが必要になります。

- ① Air Suvidha (<https://www.newdelhiairport.in/airsuvidha/apho-registration>) でオンライン事前入国申請をすること (申請後に送付される承認コードを出発時チェックインカウンター等で提示する必要あり)



- ② 「有効なワクチン接種証明書の発行国としてインド政府が認めた国で発行された海外用ワクチン接種証明書 (2回目接種の完了を証明するもの)」又は「出発前 72 時間以内に受けた RT-PCR 検査の海外渡航用 (パスポートナンバー等が記載されているもの) 英文陰性証明書」の電子データ又は印刷したものを出発時のチェックインカウンター、空港到着時に提示すること

#### (新型コロナワクチン接種証明書)

接種証明書の取得については、接種時点で住民票のある自治体 (通常は接種券を発行した自治体) への申請が必要です。自治体窓口等での書面による発行のほか、マイナンバーカードによる本人確認の上で、スマートフォン上の専用アプリでの発行、対象となるコンビニでの発行が可能です。詳しい申請方法は、申請先自治体の HP 等をご確認ください。

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0069.html>



新型コロナワクチン接種証明書アプリ

<https://www.digital.go.jp/policies/vaccinecert/>



(陰性証明書)

RT-PCR 検査の海外渡航用（パスポートナンバー等が記載されているもの）英文陰性証明書については、検査のタイミングによりますが、検査料+証明書発行料=1万円~2万円ほどかかります。

参考（チームメディカルクリニック）：<https://www.team-medical.or.jp/certificate-for-overseas/>



在インド日本国大使館新型コロナウイルスに関する情報

([https://www.in.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/Corona\\_alerts\\_j.html](https://www.in.emb-japan.go.jp/itpr_ja/Corona_alerts_j.html))

2022年08月17日 インド入国時の検疫措置（「Air Suvidha」の運用変更）



- ③ インド滞在期間中は新型コロナウイルス感染者の追跡アプリのダウンロードが推奨。

Aarogya Setu app : <https://www.mygov.in/aarogya-setu-app/>



- ④ 空港到着時、2%の無作為に選ばれた到着客に対し PCR 検査を実施し、陽性の場合、検体検査を行うとともに治療を行う。到着時検査が陰性、又は到着時検査対象にならなかった旅客は、14日間のセルフモニタリングを行う。

## 1. インドから日本へ帰国

下記の手続きが必要になります。

- ① 入国手続きオンラインサービス Visit Japan (<https://vjw-lp.digital.go.jp/>) への登録



② 出国 6 時間前までに、「有効なワクチン接種証明書（指定のワクチンを 3 回接種したもの）」または「出国前 72 時間以内に受けた陰性証明書」を用意し、Visit Japan のファストトラックへアップロードする。

なお、日本入国の際の証明書は細かく規定が定められています。

日本入国の際の有効なワクチン接種証明書

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/border\\_vaccine.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/border_vaccine.html)





出発前 72 時間以内に受けた陰性証明書

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00248.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00248.html)



日本の水際対策について：

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00209.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html)



有効なワクチン接種証明書（指定のワクチン3回目接種の完了を証明するもの）がない場合は、陰性証明書を出国の際・帰国の際それぞれ取得する必要があります。特にインドから日本へ帰国する際は、インド国内で陰性証明書を取得する必要があります、その手続には手間や時間、費用がかかる可能性があります。有効なワクチン接種証明書をお持ちでない場合は、十分ご注意ください。



### 3. インド滞在について

#### ○気候について

インド工科大学グワハティ校のあるアッサム州グワハティ市は、亜熱帯性気候域に位置します。10月下旬から3月までは25度前後の温暖な乾期、4月・5月は35度くらいまで上がるにつれて湿度も上昇し過ごしづらい酷暑期、それ以降は雨期となっています。4月～9月は、気温としては日本の真夏と同じか少し低いくらいですが、雨期と重なることで湿度が90%にもなるため、日本の真夏とは少し異なります。今回渡航する3月はグワハティにおいて一番過ごしやすい時期となります。

朝夕：涼しく感じる（薄手のカーディガン等があると良い）

日中：半袖

※インドは冷房を強くかけている部屋が多く、冷房対策の衣類は用意があると良いかもしれません。

#### ○学生寮のシャワーについて

3月は温暖な気候のため、シャワーが常温の水になります（ボイラー点火は1・2月のみ）。参加者体験談としては、使用する間（3日くらい）に慣れてくるそうです。

#### ○病院について

インド工科大学内には大学病院があります。ある程度の病気は大学構内での対応が可能です。（破傷風ワクチン、狂犬病ワクチンも備えられています。）

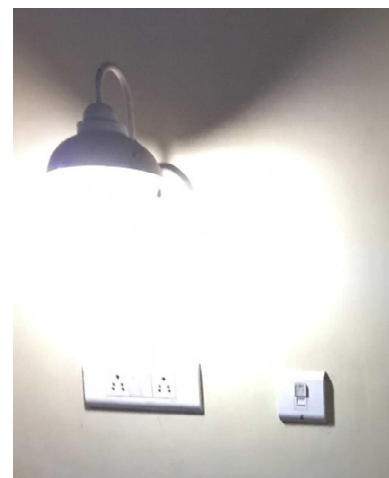
車で30分圏内に設備の整った病院もあり、手術が必要な場合でも対応できる病院となっています。

#### ○コンセント



学生寮の部屋のコンセント（B3とCタイプの複合版）→

←講義室の机のコンセント(B3タイプ)





変圧器は必要か?…自分の持っていきたい電化製品(携帯電話、ノートパソコン、デジカメなど)の対応電圧を確認してください。(100-240Vであれば、そのまま使用できます。)

※熱源となる家電製品(ドライヤー等)は海外用を使用してください。

#### ○ネットワーク環境

インド工科大学グワハティ校内には学内ネットワークのWi-Fiがあります。但し、接続状況はあまり良好とはいえません。(インドは細かい停電が多い為)

心配な場合は、海外で使用できるWi-Fiルーターをレンタルすることをお勧めします。

#### ○水・食事について

【水】インド工科大学内の飲み水は、UVフィルター等を備えた浄水器が付けられた水道水です。ただし、滞在期間も短く、ミネラルウォーターも安いので、不安な場合は購入をお勧めします。ミネラルウォーターは各所に売店があり、構内で簡単に購入することができます。

失念しがちですが、歯磨きでもミネラルウォーターを使用する等、「口に入る水」には注意が必要です。

【食事】・食器に水分が付いている場合は、良く拭いてから盛り付ける。

・生野菜は避ける。

の2点に注意していれば、旅行者下痢になることは少ないです。

ただし、スパイスの多い料理となりますので、刺激に弱い方はスパイス過多による下痢になることはあるかもしれません。

#### ○貨幣について

現地通貨であるルピーはインド国内でしか入手できません。行きのデリー空港では日本円からの両替が可能です。

デリー空港：1万円から

(写真：グワハティ空港内両替)

また、インド工科大学グワハティ校内には現地銀行のATM(VISA対応)が設置されているほか、銀行窓口もあります。不測の事態に備えて、数万程度は両替しておくとも良いかもしれません。





○渡航経験者からの持って行くと良いもの・便利なもの

参加者がおすすめする 持って行くと良いもの	トイレトペーパー	現地購入も可能だが、大学に着く前にも必要な場合があるため。
	シャワー用サンダル	室内も靴のまま過ごすため、シャワー後に履き替えるサンダルがあると便利です。
	汗ふきシート	感染症予防にもなるので、体質に合ったものを用意しておくといい。
	強力な虫よけ	
	虫刺され用かゆみ止め	
	爪切り・耳かき	
	マスク	感染防止対策としてはもちろんのこと、空気が乾燥していたり、大気汚染+土埃がひどい日があります。
プログラムコーディネーターがおすすめする 持っていくと便利なもの	トラベルケトル	現地で温かい飲み物等を飲みたい場合にすると便利。
	非常食	現地の食事が合わない場合に。余ったら、日本のお土産として渡せるものにするると便利。
	絆創膏	外出先で気づかずに靴連れをしていて寺院等で素足になる必要がある場合、破傷風等の感染症予防にすると便利。
	洗濯セット	洗濯したものを干す紐や洗濯ばさみ等があると便利。
	タオル類	ホテルでないので、備え付けのタオル類はありません。自分の必要な量を持っていくと便利。



#### 4. インド工科大学ってどんなところ

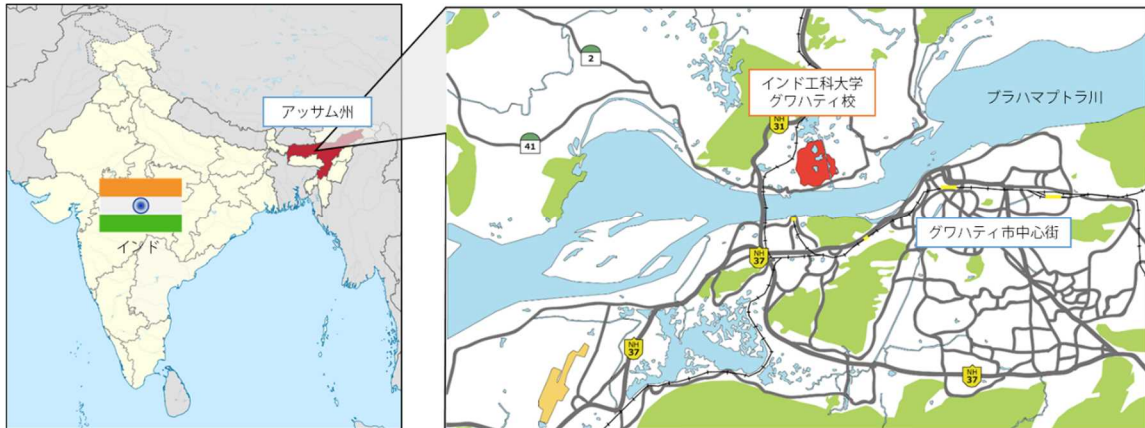
○インド工科大学グワハティ校 (<http://www.iitg.ac.in>) とは



インド工科大学グワハティ校 (IITG) は、インドにおける「工学と科学技術」の最高高等教育研究機関として設置されたインド工科大学のなかの一つです。現在23校あるなかで、6校目の大学です。

IITG は、11の学部・研究科と5つの学際領域センターを有し、学士・修士・博士課程を有する「工学・科学技術」の単科大学です。工学、科学、人文科学の主要分野を網羅しているほか、高度な研究を行うための世界クラスの施設が整備されており、最先端の科学技術装置も備えています。

同校は、グワハティ市の中心街から約20km離れたブラハマプトラ川北岸に位置し、285haの自然豊かで広大なキャンパスです。キャンパス内には池や丘があり、インド工科大学の中でも特に自然豊かで美しいキャンパスとなっています。









## 岐阜大学グローバル推進機構

〒501-1193

岐阜県岐阜市柳戸1-1

[手続き等についてのお問合せ]

国際総務室

TEL:058-293-3350

E-mail: [gutenkai@gifu-u.ac.jp](mailto:gutenkai@gifu-u.ac.jp)

[プログラム内容についてのお問合せ]

助教 松井

E-mail: [m\\_matsui@gifu-u.ac.jp](mailto:m_matsui@gifu-u.ac.jp)